

ダイワ／バリュー・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド

第5期分配金は1,700円

2021年5月13日

平素は、「ダイワ／バリュー・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2021年5月12日に第5期計算期末を迎え、当期の収益分配金につきまして1,700円（1万口当たり、税引前）と致しましたことをご報告申し上げます。

当ファンドの分配方針は以下のとおりとなっています。

1. 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
2. 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

基準価額・純資産の推移

2021年5月12日現在

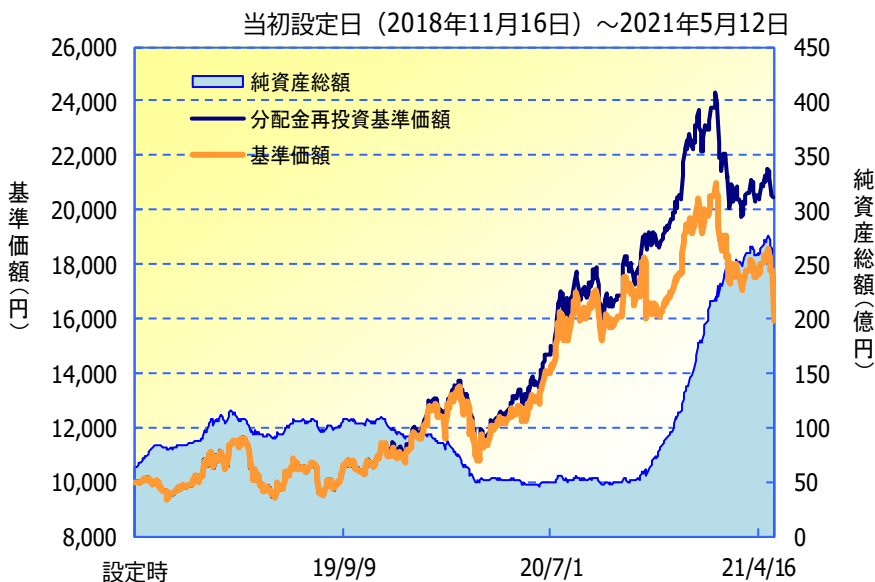
基準価額	15,951 円
純資産総額	237億円

《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (19/05)	0円
第2期 (19/11)	200円
第3期 (20/05)	350円
第4期 (20/11)	1,700円
第5期 (21/05)	1,700円

分配金合計額 設定来：3,950円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

当期の投資環境

世界経済の正常化期待も、世界的な長期金利の上昇から株式市場はほぼ横ばい

中国・香港株式市場は、当期首から2021年2月上旬にかけて、中国経済が相対的に好調を維持していることに加え、新型コロナウイルスのワクチン普及による世界経済の正常化期待、米国のバイデン新政権による大規模な景気対策への期待などを背景に大きく上昇しました。しかしその後、米国をはじめとした多くの国における長期金利上昇が警戒されたことに加え、香港政府が景気対策などへの財源確保のため、株式売買に係る印紙税の引き上げを発表したことが嫌気され、下落に転じました。3月中旬以降は、ネット企業への規制強化などがマイナス要因となったものの、政策期待などが支援材料となり一進一退の展開となりました。

中国人民元、香港ドルは上昇

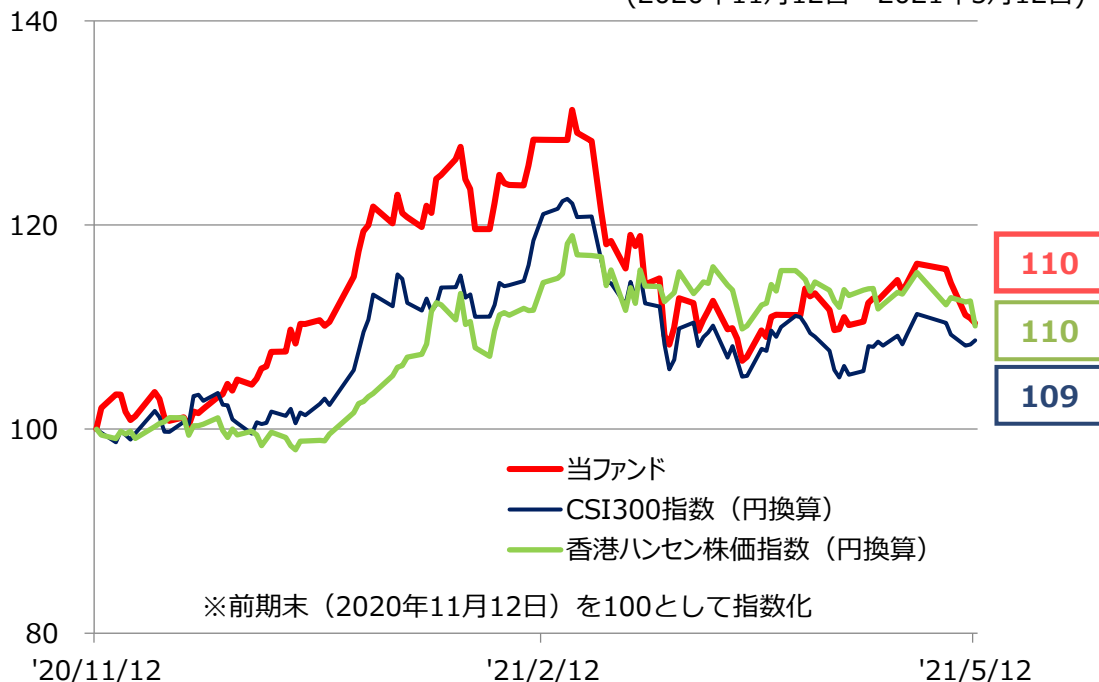
為替相場については、当期間、米国での追加経済対策の成立や、経済指標の改善により米国金利が上昇したことで円に対して米ドル高が進み、米ドルに連動する香港ドルも対円で値上がりしました。人民元は、欧米を中心にワクチン接種が進み、市場のリスク選好度が強まったことを背景に、円安人民元高になりました。

当期の運用状況

当ファンドのパフォーマンスは、上記のような市場環境のなか、為替のプラス効果などを背景に値上がりしました。

当ファンドと中国株式指数の推移

(2020年11月12日～2021年5月12日)



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※CSI300指数、香港ハンセン株価指数は、当ファンドのベンチマークではありません。※円換算は、前営業日の指数値に当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を乗じて算出しています。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ブルームバーグ

当期の運用経過

内需拡大や製造業の自動化・高度化に注目

ポートフォリオは、所得増加に伴う内需拡大の恩恵を受ける一般消費財・サービスセクター、製造業の自動化・高度化の流れを支える資本財・サービスセクター、新型コロナウイルスに関連して医療用消耗品、医療機器などの需要増が見込まれるヘルスケアセクターなどを組入高位としました。

個別銘柄では、中国最大の対話アプリWeChat（ウィーチャット、微信）を展開するテンセント・ホールディングス、中国医療機器最大手の一つであるシンセン・マインドレー・バイオメディカル・エレクトロニクス、半導体製品（主にCMOSイメージ・センサー）の開発、設計、販売を手掛けるウィル・セミコンダクター・シャンハイなどを組み入れました。

今後の見通しと運用方針

新5カ年計画。国策に売りなし

3月の全国人民代表大会（全人代）で採択された新5カ年計画では、研究開発費支出の伸び率、1万人当たりハイレベル特許取得件数、デジタル経済、コア産業付加価値のGDP比などで具体的な数字が示されました。これは、イノベーションが経済成長をけん引し、成長の質・効率の向上に力を入れていくことを改めて示すものとなっており、今後も政策への期待が株価の支援材料になると考えています。

足元では経済統計が良好なことに加え、中国国内でのワクチン接種が進んでおり、消費、国内旅行、生産などの経済活動も正常化に向かっています。このような環境下、当ファンドに組み入れている企業もおおむね良好な決算を発表しており、2月から3月にかけての市場の下落を経て、投資妙味が高まっているとみています。中国経済がコロナ禍から世界に先駆けてV字型回復を果たしていることに加えて、政策が支援材料として期待されることから、中国株式市場は地を固めてから、再び上昇していくと考えます。

新5カ年計画におけるイノベーションに関連した方針



（出所）新華社発表内容により、大和アセットが作成

当ファンドでは、ニューエコノミー関連銘柄に注目

当ファンドについては、引き続き「質の高い」経済成長をけん引していくニューエコノミー関連銘柄に注目して、投資を行っていく方針です。具体的には、eコマースなどに代表されるデジタル経済、太陽光発電をはじめとする新エネルギー、市場規模の拡大が見込まれるヘルスケアビジネスなどに関連した、中長期的に成長力の高い企業に注目をしています。

今後も外部環境の変化等に注意を払いつつ、企業の技術力や国際的な競争力、成長性などに基づき魅力度の高いイノベーション関連企業を選別して投資することにより、信託財産の成長をめざしてまいります。

ポートフォリオの状況（2021年4月末時点）

＜バリュー・パートナーズ・チャイナAシェア・イノベーション・ファンド・エスピー（クラスZ）の資産構成＞

※比率は組入ファンドの純資産総額に対するものです。

※以下の資産構成は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドの提供するデータを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

業種別構成		合計100.0%	市場別構成		合計100.0%	通貨別構成		合計100.0%
業種名	比率		市場名	比率		通貨名	比率	
一般消費財・サービス	18.0%		深センA株市場	40.3%		中国・人民元	70.2%	
資本財・サービス	17.7%		香港市場	24.8%		香港ドル	27.1%	
ヘルスケア	14.0%		上海A株市場	23.9%		米ドル	2.7%	
情報技術	11.8%		米国市場	2.5%		日本円	-	
金融	11.5%		現金等	8.5%				
コミュニケーション・サービス	10.9%							
生活必需品	6.6%							
素材	0.8%							
不動産	-							
公共事業	-							
エネルギー	-							
現金等	8.5%							

組入上位10銘柄					合計35.5%
銘柄名	市場名	業種名	銘柄概要	比率	
テンセント・ホールディングス	香港市場	コミュニケーション・サービス	中国IT業界の最大手の一社。中国最大の対話アプリWeChat（ウィーチャット、微信）を持つほか、ゲーム事業、音楽、動画事業、広告事業、決済事業など多角的なビジネスを展開。	6.1%	
シンセン・マインドレー・バイオ メディカル・エレクトロニクス	深センA株市場	ヘルスケア	中国医療機器の最大手の一角。主に生活情報やサポート、体外診断、医用画像などの分野に応用される医療機器および装置の研究、開発、製造、販売および医療機関へのワンストップ統合ソリューションの提供などを手掛ける。	4.1%	
CATL	深センA株市場	資本財・サービス	世界最大級のEV向け電池メーカーで、テスラやトヨタなど大手自動車メーカーに車載電池を供給する。中国EV市場の成長を背景に、電池生産能力を急拡大させている。	3.8%	
ゼー・ジャン・サンホウ・インテリ ジェント・コントロールズ	深センA株市場	資本財・サービス	空調、冷蔵庫、ヒートポンプの細管などに接続するバルブや部品の製造を手掛ける。EV空調制御コンポーネントと熱管理におけるリーディングカンパニー。	3.6%	
ミデア・グループ	深センA株市場	一般消費財・サービス	スマート家電にも注力する中国を代表する大手グローバル総合家電メーカー。近年は海外企業との提携、M&Aなどを通じて、AI（人工知能）や医療や介護用ロボットなども手掛ける。	3.4%	
ジャンスー・ハンルイ・メディシ ン	上海A株市場	ヘルスケア	医薬品メーカー大手。主に抗がん剤や麻酔薬、造影剤などの各種医薬品の開発および製造を手掛ける。特に抗がん剤の分野では中国最大規模を誇る。	3.3%	
ピン・アン・インシュアランス	上海A株市場	金融	保険を中心とした総合金融サービスグループで、近年はオンライン医療に注力。AI技術を利用した医療プラットフォームの「平安グッドドクター」を香港に上場させ、すでに数億人のユーザーの獲得に成功。	3.1%	
ウィル・セミコンダクター・シャン ハイ	上海A株市場	情報技術	半導体製品の開発、設計、販売を行う。スマートフォン向けのCMOSイメージ・センサーが業績をけん引。中国で半導体の国産化が推進される中、中国大手半導体メーカーの一社として持続的な高成長が見込まれる。	2.8%	
シャンハイ・ミルクグラウンド・ フード・テック	上海A株市場	生活必需品	乳製品メーカー。チーズ、ミルク、バター、クリーム、スライスチーズ、その他の製品を製造する。食品流通サービスも提供。革新的な産業チェーンや生産技術に強み。	2.7%	
グランドン・ハイド・グループ	深センA株市場	生活必需品	飼料の生産・販売、関連する技術サービスの提供を行う。中国における生活水準が向上し畜産・養殖需要が拡大するなか、優れた品質や安全性を背景に高い利益成長を続ける。	2.7%	

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

※市場名は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドの分類によるものです。

※上記データは、基準日時点（現地）のデータを記載しています。

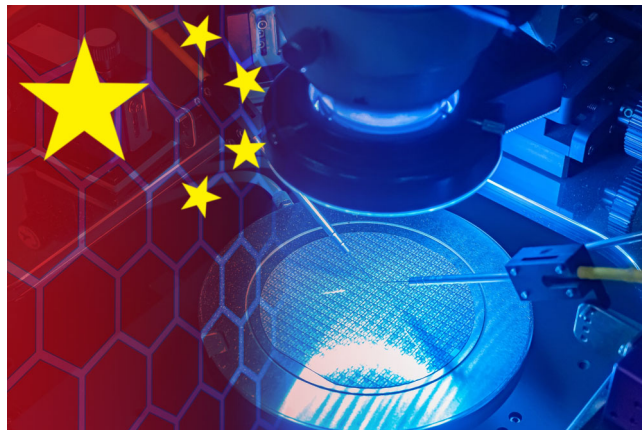
※上記は組入銘柄の一部を紹介するものであり、個別銘柄の推奨を目的としたものではありません。

企業紹介：CMOSイメージ・センサーが業績をけん引する半導体メーカー

■ ウィル・セミコンダクター・シャンハイ（中国半導体メーカー）

ウィル・セミコンダクター・シャンハイは、半導体製品（主にCMOSイメージ・センサー）の開発、設計、販売を手掛ける中国半導体メーカーです。その製品は携帯電話、コンピューター、通信機器、セキュリティモニター、自動車、医療機器など、あらゆる分野で使用されています。

中国で半導体の国産化が推進される中、同社の技術力やブランド力は劇的に向上し、優れた性能と価格競争力を武器に急成長を遂げています。



現在では、同社が設計した半導体はファーウェイ、レノボ、ZTEなどの中国国内メーカーのみならず、メルセデス・ベンツ、トヨタ自動車、フォルクスワーゲンなど、世界的メーカーにも採用されています。

■ バリュー・パートナーズの着眼点

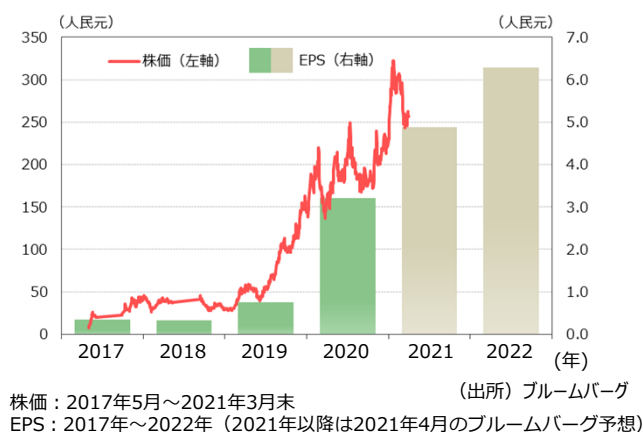
近年は、同社の主力製品であるCMOSイメージ・センサー（CIS）が業績を大きくけん引しています。2020年の売上高はコロナの影響にも関わらず、前年比で45%増を達成しました。

当社はCIS技術開発力とCMOSセンサーを駆使するイメージング分野で、センサー性能に対するサプライチェーンからの厳しい要求に長年応えてきました。

さらに、付加価値を高めるため、積極的に研究開発費を投入しています。同社の継続的な投資によって、自社開発製品が多様化しています。2020年の研究開発費は約17.3億元となり、前年比で約35%の増加となりました。また技術者数も2018年の339人から、2020年の1644人と大幅に増員しました。さらに、世界有数の半導体設計会社である米国オムニビジョンの買収、米国シナプティクスTDDI部門の買収など、M&Aなどを通じて、優れた技術の獲得、シェアの拡大に注力しています。

5GやIoT、自動運転技術に関連する市場が拡大する中、イメージング分野で高い競争力を有する同社の高成長が続くとみています。

株価とEPSの推移



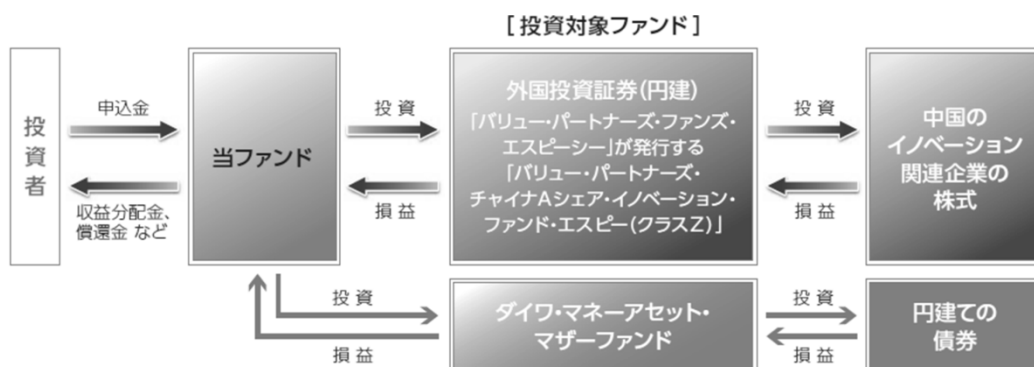
Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

中国のイノベーション関連企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- 中国のイノベーション関連企業の株式に投資します。
※株式にはDR（預託証券）を含みます。
当ファンドにおける中国のイノベーション関連企業とは、以下①～④のうち、テクノロジー関連ビジネス、消費関連サービス、ヘルスケアビジネス、金融ビジネスなどの分野で革新的な企業をいいます。
①中国に主たる拠点を有している企業
②中国国内の株式市場に上場している企業
③収益の大部分を中国であげている企業
④主たるビジネスを中国で行なっている企業
- 中国株式の運用はバリュー・パートナーズ香港リミテッドが行ないます。
- 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
外国投資証券を通じて、中国のイノベーション関連企業の株式に投資します。



- 当ファンドは通常の状態、投資対象とする外国投資証券への投資割合を高位に維持することを基本とします。
- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「集中投資のリスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

【中国A株投資に関する留意点】（2020年11月末現在）

- 上海と香港、深センと香港の株式相互取引制度（ストックコネクト）を通じた中国A株への投資においては、取引額や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、中国A株への投資の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる場合があります。そのような場合、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。
- QFII制度またはRQFII制度を通じた中国A株への投資においては、その制度上の規制の制約を受けます。
- 株式相互取引制度やRQFII制度における取引通貨はオフショア人民元となり、中国全土における人民元の為替レートと値動きとは乖離する場合があります。そのような場合、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。
- 中国政府当局は、その裁量で中国の外貨収支残高状況等を理由とした政策変更等を行ない、中国国外への送金規制や円と人民元の交換停止などの措置をとることができます。その場合には、信託財産における円と人民元の為替取引が予定通り行なえない可能性があります。
- 中国国内における収益に対し課税されることとなった場合には、当ファンドがこれを実質的に負担する可能性があります。
- 中国の証券関連投資の法令は近年制定・改正されるものが多く、その解釈は必ずしも安定していません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

Ⅰ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限> 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.2375% (税抜 1.125%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.705%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.9425% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。